

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 かすかな潮のにおいは、そこにもあった	17	●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。	●抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
二 富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか	17	●事例の提示や、問いと答えの関係を確認しながら読む。  ●お互いの発表を聞き、構成や意見と根拠的確かさを確認し合	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	●すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
三 神様はその人に乗り越えられない試練は与えない	16	●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	●「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	●粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
四 紙管の工場は、日本中、世界中のどこにでもある	17	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。  ●考えの理由づけを示して意見文を書く。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。	●積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
五 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり	17	●古人のものの見方や考え方に對して、自分の考えをもつ。  ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	●現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	●「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	●すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことや考えたことを説明しようとしている。
六 もはや逃げ場所はないのだ	14	●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。  ●漢字の多義性についての理解を深める。	●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。

七 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とでも呼べるものだ	14	●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	●積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生か仕方を考えようとしている。
八 「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なもの	14	●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	●今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
九 訳のわからぬ大きな力	14	●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	●抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。